



## 火山はどうして噴火するの

### 地下にマグマがたまる

マグマとは地球の内部で、高い温度のためにどろどろにとけている物質です。地下のマグマが地表に流れ出たり、地表の岩石などをふき飛ばして、急激にふき出すことを火山の噴火といいます。

地下の深い所でできたマグマは、だんだんと地上近くに上がっていき、1か所にたまります。これをマグマだまりといいます。

マグマだまりのマグマは、だんだん冷えていきますが、そのとき、マグマの中にとけている物の一部がガスになって、マグマだまりの上に集まってきます。ガスが集まって、圧力(物をおしつける力)が強くなると、地表の弱い部分の岩石などをふき飛ばします。すると、火口ができて、次々とマグマが地表に出て噴火が続きます。

### 火山の噴火にはいろいろある

火山の噴火のしかたは、マグマのねばりけによって決まります。ねばっこいマグマの火山は、ドカーンと爆発して噴火します。雲仙岳、桜島、浅間山などの火山は、このような噴火のしかたをします。

また、水のようにさらさらしているマグマの火山は、溶岩が川のように流れるだけで、あまり大きな爆発は起こしません。ハワイのキラウエア火山や伊豆大島の火山などが、このなかまに入ります。(監修・国司 真)

